

令和7年度
推薦入学試験

看護学

広島県立三次看護専門学校
第二看護学科

受験番号（ ） 氏名（ ）

答案作成上の注意

- 1 受験番号・氏名は、解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 2 解答は解答用紙の所定の場所に記入すること。
- 3 配布した問題用紙、解答用紙は持ち出さないこと。

問1 F・ナイチンゲールの看護の定義について、()内に適切な語句を記入し、文章を完成させなさい。

代表的な著書である「(①)」には、「看護とは、新鮮な(②)、陽光、暖かさ、清潔さ、静かさなどを適切に整え、これらを生かして用いること、また(③)内容を適切に選択し適切に与えること—こういったことのすべてを、患者の(④)の消耗を最小にするように整えること、を意味すべきである」と述べている。

問2 患者の権利が盛り込まれたものはどれか、正しいものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. リスボン宣言
2. ヒポクラテスの誓い
3. ジュネーブ宣言
4. アルマ・アタ宣言

問3 インフォームドコンセントの説明として、正しいものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. 患者が治療内容に対して遵守すること
2. 患者の権利を擁護・代弁すること
3. 科学的根拠に基づいた医療を行うこと
4. 情報を事前に十分説明したうえで、患者が理解し同意すること

問4 呼吸測定について、正しいものに○印、誤っているものに×印を記入しなさい。

1. 聴診を行う前には、聴診器のチェストピースを手で温めておく。
2. 胸郭や腹壁の動きから観察部位を定め、2分間の呼吸数を数える。
3. 呼吸回数を数えると同時に、呼吸の深さとリズムを観察する。
4. 呼吸音は気管呼吸音、気管支肺胞呼吸音、肺胞呼吸音の3種類を聴取する。
5. 異常呼吸がある場合は、パルスオキシメーターを用いて経皮的動脈血酸素飽和度を測定する。

問5 ボディメカニクス原則について、正しいものを2つ選び、番号を記入しなさい。

1. 看護師の重心の位置は、高いほうが安定性がよい。
2. 患者の水平移動では、看護師と患者の重心を遠ざけるとよい。
3. 仰臥位から側臥位にする際は、患者の膝を高くしトルクの原理を活用する。
4. 支持基底面は、狭いほうが安定性がよい。
5. 患者の体を動かすときは、摩擦を小さくする。

問6 体位の種類と特徴について、正しい組み合わせを1つ選び、番号を記入しなさい。

- | | | |
|----------------|-------|-------------------|
| 1. 端座位 | _____ | 上半身を45度に起こした姿勢 |
| 2. 長座位 | _____ | 下肢を伸ばした座位 |
| 3. シムス位 | _____ | 頭部を横に向けうつぶせになる姿勢 |
| 4. 半座位(ファウラー位) | _____ | ベッドの端に座り、下肢を床におろす |

問7 次の（ ）内に入る適切な語句を下枠から選び、記号を記入しなさい。

注射法は経口与薬に比べて薬剤の吸収が（ ① ）く、また身体侵襲が（ ② ）く、危険を伴う技術である。皮内注射は（ ③ ）の角度で刺入し、通常、前腕（ ④ ）側で実施される。皮下注射は（ ⑤ ）の角度で刺入し、肩峰と上腕後面肘頭を結んだ下から（ ⑥ ）の点で実施される。筋肉内注射は（ ⑦ ）の角度で刺入し、注射部位として神経や血管の分布の少ない（ ⑧ ）筋が選ばれる。

a. 大殿	b. 45～90度	c. 外	d. 中殿	e. 1/2	f. 遅	g. 小
h. 10～30度	i. 速	j. 大	k. 1/3	l. 0～15度	m. 内	

問8 点滴の滴下時の計算について、次の設問に答えなさい。

10%ブドウ糖液 500ml を6時間かけて点滴する指示が出された。輸液セットは20滴で1ml のものを使用した場合の1分間の滴下数を計算し、式と答えを記入しなさい。小数点以下は四捨五入しなさい。

問9 嚥下困難のある患者の看護について、誤っているものを2つ選び、番号を記入しなさい。

1. 嚥下時のむせや咳込みの有無を観察する。
2. むせがなくても嚥下後の呼吸状態を観察する。
3. 嚥下体操や唾液腺マッサージは食事後に行う。
4. 食事の時は、頸部を後屈させた姿勢を保持させる。
5. 絶飲食であっても、口腔ケアや含嗽で清潔を保つ。

問10 急性期の患者の特徴と看護について、正しいものを2つ選び、番号を記入しなさい。

1. 急性期とは、全身状態が徐々に変化し悪化する時期をいう。
2. 急性期看護では、状態を観察し重症度・緊急度を判断する。
3. 急性期は対象の生命維持を最優先し、家族への説明は処置が終了した後に行う。
4. 治療が優先されるため、日常生活援助は最小限とする。
5. 意識障害を伴っていても、プライバシー保護に努め、倫理観をもって行動する。

問11 排尿障害について、（ ）内に適切な語句を記入しなさい。

尿量の異常として、1日尿量が100ml 以下の場合を（ ① ）という。また、尿が膀胱内に貯留しているが排尿できない状態を（ ② ）という。

間欠導尿や持続膀胱留置カテーテルの挿入時には（ ③ ）操作に努め、感染予防に注意する必要がある。

問12 大腸と肛門の構造と働きについて、（ ）内に適切な語句を記入しなさい。

大腸は全長が約1.5～1.6mで（ ① ）、（ ② ）、直腸に大別される。大腸では消化はされず、（ ③ ）の吸収が行われる。肛門は（ ④ ）括約筋と（ ⑤ ）括約筋の収縮によって通常閉鎖されている。

便意を催したときに、まず（ ④ ）括約筋の弛緩が起こる。

問 13 次の【事例】を読み、問いに答えなさい。

Aさん、57歳 男性。半年前から排便後に下着への血液の付着に気づいていたが、仕事も忙しく、痔だろうと思っていた。職場の定期検診で便潜血陽性を指摘され受診した。外来で下部消化管内視鏡検査を受けることとなった。

問 13-1 下部消化管内視鏡検査を受ける患者の看護として、正しいものに○印、誤っているものに×印を記入しなさい。

1. 検査前日の昼食後から絶食とする。
2. 検査当日は便が水様で無色透明になったことを確認する。
3. 検査当日は経口腸管内洗浄液の服用のみとし、洗腸は行わない。
4. 検査中は右側臥位で臥床する。
5. 検査中に生検を行った場合は出血に注意する。

問 13-2 Aさんは検査の結果、直腸がん（ステージⅡ）と診断され、直腸切断術、人工肛門造設目的のため入院となった。Aさんの体型は痩せ型で普段の仕事ではスーツを着用している。人工肛門の位置決めとして誤っているものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. 腹直筋を避けた位置とする。
2. 腹部のしわを避けた位置とする。
3. ズボンのベルトの真下を避けた位置とする。
4. 座位で見えやすい位置とする。

問 13-3 退院が近づいたAさんに、日常生活と社会資源の活用について説明を行った。正しいものを2つ選び、番号を記入しなさい。

1. 出張など遠方への外出や外泊は難しいことを説明する。
2. 臭気が気になる場合は食事の工夫を説明する。
3. 装具は必ずつけて入浴するように説明する。
4. 身体障害者手帳の申請ができることを説明する。

問 14 脳梗塞発症後、回復期にある患者。右上下肢麻痺があり、リハビリテーション中で自宅への退院を予定している。患者の看護で適切なものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. 車いすへの移乗は全介助で行う。
2. 日中は安静を保持し休息を促す。
3. 社会資源の活用について、家族を含めて検討する。
4. 血圧測定は右上肢で行うよう説明する。

問 15 頭蓋内圧亢進症状のある患者の看護について、正しいものに○印、誤っているものに×印を記入しなさい。

1. 下肢を 30 度拳上する。
2. 便秘時は浣腸を行う。
3. 酸素療法を確実に行う。
4. 瞳孔の異常や対光反射を観察する。

問 16 慢性腎臓病（CKD）で低下するのはどれか、正しいものを 1 つ選び、番号を記入しなさい。

1. 血圧
2. 血清クレアチニン
3. 尿たんぱく
4. 糸球体濾過値（GFR）

問 17 シヤントを造設し血液透析を受けている患者の看護について、（ ）内に入る適切な語句を下枠から選び、記号を記入しなさい。

血液透析の目的には、余分な（ ① ）と（ ② ）の除去、血液 pH の調整があると伝える。シヤント部の感染徴候を見逃さないように、（ ③ ）、疼痛、腫脹の観察が必要である。左前腕にシヤントを造設している場合の血圧測定は（ ④ ）で行うように説明する。食事ではカリウムや（ ⑤ ）の摂取を調整するように指導する。

- | | | | | |
|--------|-------|--------|---------|----------|
| a. 左上肢 | b. 糖質 | c. 発赤 | d. 脂質 | e. タンパク質 |
| f. 老廃物 | g. 水分 | h. 右上肢 | i. 血球成分 | j. 皮下出血 |

問 18 緊急処置を要する不整脈を 2 つ選び、番号を記入しなさい。

1. 心室頻拍
2. 心室細動
3. I 度房室ブロック
4. 上室性期外収縮

問 19 ペースメーカー植え込み術後の患者への指導について、正しいものに○印、誤っているものに×印を記入しなさい。

1. 術後、挿入側の上肢は拳上制限する。
2. ペースメーカー手帳は家に保管するように説明する。
3. 低周波治療器の使用は可能であると説明する。
4. 毎日自己検脈するように説明する。
5. 外来受診時には電池消耗の有無を確認する必要があると説明する。

問20 次の【事例】を読み、問いに答えなさい。

Aさん、86歳 男性。ある朝、家族がAさんの活気のない様子に気づき、かかりつけ医を受診した。血液検査と尿検査の結果、水分摂取不足による脱水症と診断された。

問20-1 Aさんに脱水が起きる要因となった身体の変齢変化について、正しいものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. 細胞外液の減少
2. 腎血流量の増加
3. 口渴中枢の感受性の低下
4. 骨量の減少

問20-2 Aさんに起こっている脱水の種類について、正しいものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. 高張性脱水
2. 低張性脱水
3. 混合性脱水

問21 高齢者の手術と看護について、正しい組み合わせを1つ選び、番号を記入しなさい。

- a. 本人に不安を与えないために、手術に対する説明は家族に行う。
- b. 手術前日は、睡眠薬を服用せず、自然な睡眠を促す。
- c. 術前から低栄養状態であれば、栄養改善していくように支援する。
- d. 肺の残気量の増加による術後呼吸器合併症を予防するための援助が必要である。

1. a b 2. b c 3. b d 4. c d

問22 妊婦の保健指導について、() 内に適切な語句を下枠から選び、記号を記入しなさい。

1. 出産や育児についての希望を書いてもらう (①) を活用し、出産に主体的に臨めるようにする。
2. 妊婦は、妊娠24週から35週までは、通常 (②) 週間に1回の健康診査を受ける。
3. 妊婦の食事摂取基準においてエネルギー付加量は、妊娠中期では、(③) kcal/日である。
4. 妊娠貧血を予防するため (④) の多い食品を勧める。

- | | | | |
|-------|--------|------------|--------|
| a. 鉄分 | b. 1 | c. バースプラン | d. 2 |
| e. 亜鉛 | f. 450 | g. エンゼルプラン | h. 250 |

問23 妊娠中の生活について、正しいものには○印、誤っているものには×印を記入しなさい。

1. 流・早産の危険を避けるため、原則として日常行っている仕事や運動も控えるよう指導する。
2. 転倒予防のために靴のかかとの幅が広く2～3cmの高さで、滑りにくい素材のものを選ぶ。
3. 齲歯や歯肉炎になりやすいので歯科受診を勧める。
4. 妊娠中の旅行は疲労しやすいため妊娠初期に行うようにする。
5. 妊娠後期になると腹部が膨隆し寝苦しくなるので、ファウラー位になるとよい。

問24 てんかんのある患者の看護について、誤っているものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. バルプロ酸ナトリウム内服時は、血中濃度を観察する。
2. 発作時、舌を噛まないように、口の中にタオルを入れて対応する。
3. 痙攣発作時は周囲の危険なものを取り除き、衣服を緩め安楽にする。
4. 危険防止の目的で頭部を保護するための装具を工夫する。

問25 躁状態の患者の看護について、正しいものを1つ選び、番号を記入しなさい。

1. 気分が高揚している時は、1回の訪室時間を長くする。
2. 主症状である妄想を観察する。
3. 逸脱行動に対し、社会的信頼を失わないようにする。
4. 状態が落ち着くまでは、セルフケアへの介入はしない。

